

緑風

山古志フィールドミュージアム構想について
みどりの復興シンポジウム

試験植栽を実施して
公共緑地災害規定

あゆみ・生活・山河花園

緑が護る・緑を守る



10月3日 祈念植樹(虫亀地区)

たいと思います。
力を傾け支援していき
の創出 保全に向けて全
しかも持続可能な景観
て復興がよりスムーズに
今後、私たちは地域唯一のみどりの公益法人とし

十月三日、山の再生を祈り、虫亀地区の災害復旧工
事現場で祈念植樹しました。
かけがえないふるさとへの復興の願いを込め、同地区
の復旧工事を担当する県職員 森章さんが、昨年秋季に
工事現場近くのブナ林に落ちていた種を集め、育てた
苗木二百本も使い、ブナやオオヤマザクラ、ムギなど三
百二十本を、住民のみなさんと一緒に、一本一本てい
ねいに植え付けました。

みどり豊かなふるさとへの
復興と発展を願って

震災復興 景観から！

復興を考えるシンポジウム「緑が護る・緑を守る」が
10月19・20日長岡リリックホールで開催されました。
中越震災から2年を前に、ランドスケープの視点から、
山古志地域での、具体的な復興案をベースにして、
活発な意見が交わされ、大会宣言を全国に向け発信し
ました。



10月20日 現地視察(油夫地区)